

RICOH
imagine. change.

超短焦点プロジェクター RICOH PJ WX シリーズ



～壁からプロジェクターまでの距離は最短で 11.7cm!～

小さな部屋での会議や、
店舗前・展示会ブースでの
サイネージに大活躍

ネットワーク投影やUSBにも対応
映像ケーブルレスで場所いらず
スマートフォン、タブレットから
ワイヤレスで簡単投影



- ・世界最小のコンパクトボディでスペース占有率最小
- ・移動や持ち運びが容易な世界最軽量 (約 3.0kg)
- ・本体背面から投写面までわずか 11.7cm の超至近投写
- ◀80 インチの大画面も壁から 24.9cm で投写可能

【主な仕様】

リアル解像度 : WXGA (1,280×800 ドット)
出力光束 : (明るさ) 3,500 lm
質量 : 約 3.0Kg



RICOH PJ WX シリーズ 当社で取り扱っております。詳しくはお問い合わせ下さい。



株式会社 宏和

Kowa Corporation

東大阪市長田東 1-7-22 TEL 06-6789-2313 FAX 06-6789-2339

<https://www.d-kowa.co.jp/>

<https://scanning.jp/>

オンデマンド印刷 会社案内、パンフレット、チラシ、名刺、カード、封筒、シール、伝票、表彰状
 冊子印刷 取扱説明書、カタログ、記念誌、広報誌、報告書、論文、自分史
 電子化業務 紙文書・紙図面スキャン(電子化)サービス、データエントリー(入力)、データコンバート
 CAD業務 CADデータ出力、CADデータ入力(トレース・設計)、電子納品データ作成
 コピー・製本 大判コピー、カラーコピー、各種製本、ラミネート、パネル・看板制作
 その他 人材派遣、人材紹介、マイクロ撮影、マイクロフィルムスキャン、WEB制作

コウカノコ

2

Vol.41

発行者：株式会社宏和
所在地：〒577-0012 東大阪市長田東1-7-22 TEL 06-6789-2313

(株)宏和

(株)宏和が毎月お客様へお役立ち情報をお届けします。

コウカノコ MONTHLY NEWS LETTER Vol.41

2019
2
February



メディアで平成の時代を振り返る番組・特集が非常に多く流れています。それにしても、この間の世界の変わり方はまさしく激変だったと思います。アナログからデジタルに、しかも年々デジタル技術が進化し、仕事や生活も大きく変わりました。この流れが加速していくとどうなるのか？ AI や自動化で何でも解決できるような空気が流れていますが、そう簡単にいくものでもなく、人間の役割はまだまだ大きいと思います。

代表取締役 日笠宏昭

IR(統合型リゾート)の本質

今月は、昨年の秋に行われた「東大阪のビジョンを考える会」の勉強会での基調講演『IRにおける地方都市の役割』（谷岡一郎氏）からIRの本質について取り上げてみました。

谷岡一郎氏は大阪商業大学の学長で、日本ではIRの専門家として有名です。

(昨年7月、IR実施法案が可決・成立し、国内で3ヶ所までIR設立が可能となりました。)

🔑 IR=カジノではない

テレビ、その他のメディアでIRの話になると、カジノやギャンブル依存症の話ばかりになり我々もIR=カジノと誤ってしまいがちです。しかし、世界で一番有名で、また非常に上手くいっているIRであるラスベガス(アメリカ)では、カジノの収益は35%~40%です。カジノ以外の収益のほうが多くなっており、理想形に近いIRと言えます。

簡単に言うと、IRとは誰が行っても楽しめるものがあり、誰も犠牲にならない場所です。(例えば、3世代で遊園地に行ったら祖父母は孫の喜ぶ姿を見るだけ、3世代で温泉に行ったら子供は暇であることがない、など)ラスベガスでは、カジノで遊ぶだけでなく、いつ行っても、有名人のステージ・ショーや有名アーティストのライブが見られますし、グランドキャニオンやその他の国立公園へのツアー、イベント・展示会、レストランやショッピングモールなど、ラスベガスに滞在しながらありとあらゆるエンターテインメントが楽しめます



<IRの構成要素>

カジノ：人と金をIR全体に巡回させる役割を持つ意味で「心臓・エンジン」

MICE施設：M=ミーティング、I=インセンティブトラベル、C=コンベンション、E=エキシビション(つまり企業や団体の会議や報奨旅行、国際会議や大規模展示会を誘致できる施設)

ホテル・スパ・レストラン・ナイトクラブ

ショッピングモール・スポーツ施設・劇場・文化施設

テーマパーク

(追加要素)IRへの人材供給のための専門学校・大学・大学院



ホテル・スパ・レストラン
ナイトクラブ



ショッピングモール



劇場・文化施設



大規模展示場



スポーツ施設・テーマパーク

🔑 大阪はIRに適しているのか

折しも、大阪で2025年の万博開催が決まりましたが、そもそも大阪はIRに適しているのでしょうか?答えは「はい」です。日帰りツアーの範囲に、京都・奈良・神戸を持つ大阪は、IRに滞在しながら日本文化を楽しめる絶好のロケーションにあると言えます。海外からの客に限らず、日本人でも楽しめる要素が多いのです。

🔑 MICEで大きく遅れてしまった日本

25年前はアジアで展示会場面積 No.1 だった日本が、中国、韓国、香港に抜かれ、国別展示会場面積では世界15位にも入っていません。日本で一番大きい「東京ビッグサイト」でも世界で73位に過ぎません。(展示面積は9.5万㎡で、世界最大のハノーバー国際見本市会場の1/5)大きな展示会は20万人規模になり、それを吸収するホテルは10万室以上必要ですが、東京都全体の2017年の客室数が102,000室ですので、大規模な展示会に対応できず大きな経済効果を得られるチャンスを逃しています。シンガポールには、ビジネスマンをターゲットにした「マリーナ・ベイ・サンズ」と家族連れがメインターゲットの「リゾート・ワールド・セントーサ」という2つのIRがありますが、前者はCとEに特化、後者はMとIに特化したIRとなっています。

🔑 IRは新産業

クラウン・リゾート(メルボルン、オーストラリア)にあるクラウンカレッジでは、カジノのディーラーやウェイトレス、その他多くの職業訓練を行っています。マリーナ・ベイ・サンズの例では、職種が900種類、内1/3は日本では聞いたことも見たこともない仕事です。つまりIRは新産業であり、日本には存在しない新しい産業です。

🔑 人材育成が必要

日本でIRを作る場合、ノウハウがないため、海外IR事業者を誘致することになります。その際に必要なのが、IRを理解し、英語で海外事業者と対等に渡り合える人材です。日本企業の中にもこの分野に可能性を見出し、参入しようとしている企業もあると思いますが、人材面ではなかなか育成できていないのが実情です。この分野に関わる行政の担当者も育成が必要です。大阪商業大学では、大学院に「IRマネジメント」コースを開設し、人材育成を図っています。

🔑 ギャンブル依存症

韓国の「カンウォンランド」は、日本では考えられないほどの短い法的プロセスを経て、速いスピードで開業しました。ギャンブル依存症対策がほとんど考えられずに開業したため、質屋が乱立、自殺者が続出するなど、当初は非常に問題となりました。現在は、政府も対策に力を入れ、ギャンブル依存症研究のアジアの先進国となっています。この教訓を生かして、ギャンブル依存症についてはもちろん対策が必要です。依存症については、競馬、競輪、競艇など既存のギャンブル、パチンコ、インターネット・ゲーミング等含めて考える必要があります。

※2025年大阪万博の開催が決まり、会場となる夢洲への交通アクセスの問題が緊急課題となりました。これは将来のIR誘致にも関係してきます。コスモスクエア→夢洲→舞洲→桜島という延伸になると考えられますが、莫大な費用がかかりますので、今後の動きに注目したいと思います。